



ます。んでい

新しい年を迎えましたが、みなさま今年もどうぞよろしくお願ひします。新年、そこら中で「おめでとう」という声

会員拡大を第一に、新しい出会いを求めて

産地直送センター 稲原 裕

その成果もあり昨年は少しばかりですが会員数が増えまし

最後にになりましたが、今年たぶん開催されるであろう商工組合の大運動会へのたくさ



嫌とい

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと、お喜び

『地場と旬』を合言葉に安心・安全を心がけて

別院協同農場 前田 智弘

うほど思い知らされた年でもありました。それでも10月ぐ

足元を見直し互いに共存する道を考える

能勢農場 寺本 陽一郎

稲ワラの粗飼料化事業、仔牛の哺育育成事業、放牧、繁殖の試験事業と、この十年で

植え、野菜を育て収穫をして

別院協同農場は、約50名の組合員で構成し『地場と旬』

を合言葉に、丁寧な野菜作りを追求しています。2019年も安心・安全を心がけて、

産直・店舗・介護の相互理解を深めながら

奈良産地直送センター 米田 寛

奈良産直は、敷地の1階が

介護施設の『デイハウスよつば』、2階が事務所になって



しても能勢農場単体では成り立っていない。

多くの人たちの協力があつて初めて成立している。

考えてみれば、商工組合の精神はこれまでの組合各企業内の発展の中でしつかり育まれ

根付いてきた。能勢農場は今も新たな事業に取り組んでいく。でも大切なのは、自分



昨年 1月、初めて三者合同の新年会を

行い楽しい時間を過ごしました。

今後ますます高齢化社会が進み、デイハウスの役割は重要になってくると思われま

今年も合同新年会を行う予定です。お互い仕事内容は違

農村と地域農業の支えになれるように

よつば農産 横井 隆之

よつば農産の課題はいろいろありますが、さまざまな体制の強化を進める年になり



場野菜の取り組みで、農村の変化や農業を取

り巻く状況の変化に対応するため、さらに進んだ農家との協力関係が重要となります。

今年、それらを進めるために、各自にあらゆる場面の仕事の質の変化が求めら

何はともあれ「ハサップ導入」進行中

能勢の里ハム工場 佐藤 雄一

昨年6月にHACCP(ハサップ)義務化がいに決定

ちらへなんてのが農水省のホームページに掲載されて

しかしながら「ハセップ」だの「ハシップ」などの呼び方を「ハサップ」と決めたく

まだまだ基礎的などところからのスタートですが、ハム作りを継続させるために何はともあれハサップ導入進行中。

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》

Advertisement for Ryuta Takagi, a member of the Takagi City Council. Includes contact info: 高槻市城西町 3-1-202, 072-675-3737.

Advertisement for Masahito Kimura, a member of the Toyonaka City Council. Includes contact info: 豊中市岡上の町 2-5-28-2F, 06-6846-8358.

Advertisement for Masahito Tani, a member of the Iwano City Council. Includes contact info: 川西市萩原台東 1-275-3, 090-8578-4494.